

# JA 佐渡 GAP 通信



令和2年3月発行

JA佐渡営農事業部 営農企画課

JA佐渡では平成31年1月に『JA佐渡AS | AGAP研究会』を立ち上げ、環境に配慮した持続的な農業の実践に取り組んでいます。『GAP』と聞くと難しいイメージがあるかもしれませんが、皆さんの農業経営の中にもGAP手法は取り入れられています！

3月に入り春作業が始まりますが、作業開始前にGAPの観点から再度『食品安全』『労働安全』『環境保全』について確認を行ってみましょう！

## ポイント 『農薬の適正使用に努めましょう！』



農薬を使用する際には、希釈倍率や使用量・使用時期、使用方法を確認し使用をお願いします。

天候や散布方法に工夫をし、ドリフト被害・加害にも注意しましょう。

また、農薬を使用したら佐渡米カレンダーメモ欄や作業日誌等への記録もお願いします。

## ポイント 『農作業事故ゼロ！』



大型機械を使う機会が多くなるかと思えます。機械の点検を確実に実施し、運転する際も安全確認を行いましょう。

施設や圃場の危険個所を確認し、家族内での情報共有を図ってください。1人で作業へ出る場合には、どの圃場へ行くか、何時頃戻る予定かを伝えてから出掛けることも大切です。

万が一に備えて、清潔な水が入ったペットボトル（約2ℓ）と救急箱を携帯しておくといよいでしょう。

## ポイント 『佐渡の環境を守りましょう！』

浅水状態での代掻きやあぜ塗りの実施など、水田代掻き後の濁水流出防止対策を徹底しましょう。

また、農薬ラベルの止水に関する注意事項を確認し、降水量が多くなる恐れがある場合には農薬の使用を中止するなど、水田からの農薬流出防止の策を講じるよう努めてください。



新型コロナウイルスの流行により様々なイベント等が中止・延期となっていますが、マスクの着用や手洗いうがいの励行により自衛に努めましょう。

